

■平成26年度 第5回 大和市街づくり推進会議 会議録■

[会議名称] 平成26年度 第5回 大和市街づくり推進会議

[開催日時] 平成27年3月17日(火) 15時から16時30分

[開催場所] 市役所本庁舎5階 委員会室

[出席委員] 10名(欠席:0名)

[出席]: 饗庭 伸/相原 聰/宇津木 朋子/須賀 良二/菅 孝能/星野 澄佳/吉田 洋子
/仙石 裕明/仲村 邦弘/松本 久美

[事務局] 4名(街づくり推進課長、街づくり推進担当3名)

[担当課] 街づくり計画部 街づくり推進課 tel.046-260-5483

[傍聴者] 0名

[公開の状況] 公開

I. 会議次第

1. 開会
2. 報告
 - 平成26年度の街づくりの推進について
 - 平成26年度「やまと・ブランド・発見」について
3. 閉会

II. 内容

1. 開会
2. 報告
 - 平成26年度の街づくりの推進について
 - ・資料1-1、2をもとに事務局より説明
 - 質疑応答(○…委員、▼…市)

○この報告事項について意見等があれば出していきたい。

○街づくり専門家の派遣が街づくり学校以外にないということだが、住民発意による地区の街づくり組織から要請がなかったということだろう。街づくり推進課で気になっている地区に働きかけをするようなことはあるか。

▼中央森林地区の東側が街づくり組織を立ち上げる準備を進めている。その中で勉強会を開催するという話になれば、この専門家派遣制度を活用することになるだろう。

▼それ以外のエリアで、街づくりや景観のルールなどを作ろうという箇所は把握しておらず、結果とし

て専門家の派遣実績につながらなかった。

○住民がまとまるきっかけは大体がマンション建設などの反対運動である。大和市内はどこでも利便性が高いので、あまりそのような動きにならないのだろう。

▼地域から相談があれば、街づくり条例の紹介や、専門家派遣制度を勧めていくようにはしていきたい。

▼今年度は線引き見直しに関連して、市街化調整区域内の街づくりについてコンサルタントに委託をしていたので、そちらの方が主として動いていた。

▼地区街づくり協議会の認定を受けると、活動費の助成金とは別に専門家の派遣を年6回まで受けることができる。

▼例えば、内山地区はこれまで全域一括での土地区画整理事業を目指していたが、方針転換をして地区計画制度を活用するエリアと土地区画整理事業を実施するエリアに分けられるようになった。今後はそれぞれのエリアで制度に関する勉強会なども開催されるので、その際に街づくり専門家派遣制度を活用する機会が増えるだろう。

○ほかに意見等がなければ、この報告事項は終了とする。

○平成26年度「やまと・ブランド・発見」

・資料2-1から5をもとに事務局より説明

質疑応答（○…委員、▼…市）

○市の説明の中で2点ほど意見をいただきたい旨の依頼があったので、その2点を中心に意見を出していただきたい。今週末の開催であるので、内容を大きく変更するのは難しいが、当日の運営方法等について意見があれば何う。

○現在申し込みをいただいている参加者に市の職員を含めると35人程度になると思うが、グループ編成のイメージは5人×7グループということでしょうか。

▼現状では6グループか7グループの編成を考えている。

○つまり、参加者、街づくりサポーター、職員でグループ構成するということになるだろう。その後の流れは、「語る」で到着したグループからワークショップを進め、「考える」でグループをA班とB班に分けるということだが、これは誰がどのように分けるのか。

▼事務局がこれからの作業の説明を行い、グループ内で話し合っ2つに分かれていただく。

○今のところ28名から参加の申し込みがあるということだが、そのうち中央林間地区にお住まいの方はどれほどいるのか。

▼中央林間地区をどこまで含めるかにもよるが、中央林間、中央林間西、下鶴間を含めると、参加者の大半が中央林間地区ということになる。

○高座渋谷などの市南部や、市外などからの参加者はいないのか。

▼市外の方はいない。一番遠い方で南部の福田地区になる。

○募集で使用したチラシ等は手元にないか。参加者がどのぐらいの情報を掴んでいるのかを把握する必要があるだろう。

▼ただいまご用意してお配りする。

○ブランドを見つけるために街歩きをするということ、どれくらい理解しているのか。

- 普段の街歩きを行うと、どうしても悪い点に目が行きがちである。今回のイベントは全く目的が異なるということを意識させなければいけない。
- ▼中央林間地区のいくつかの自治会が連合自治会を組織しており、その下に条例に基づかない任意の街づくり委員会という組織がある。その関係の方が多く申し込まれている。
- この「ブランド」とは何かと聞かれたら何と答えるのか。
- ▼先日開催した街づくりサポーターの集いでも同様の質問があった。事務局の認識としては、例えば高級ブランドのバックや全国に売り出していく物という意味でのブランドではなく、街を見ていて「いいな」と思うものを、「ブランド」と捉えられればよいと考えている。
- 街歩きを行う前に何を見るべきなのかを明確にしないと無駄になってしまう。
- 出発会場があまり広くないということだが、全体で集まって話せるスペースはあるか。
- 場合によってはグループごとで自己紹介をする程度になるか。
- ▼晴れていれば、会場の前面道路が広く、交通量も多くないので、少し集まるくらいはできるかもしれない。
- 本来であれば、全体に向けて話ができる方が良い。
- 今回のイベントの趣旨説明等はそれぞれのグループに同伴する職員が、各グループの参加者に対して行うのか。
- ▼可能であれば全体に向けてまとまって趣旨説明をしたいと考えている。
- それは可能なのか。
- ▼机を並べるのは無理だが、椅子だけであれば30個程度は並べられる。
- 趣旨説明は誰が行うのか。
- どこまでを分担するかについては、まだ細かく決まっていない。
- ▼趣旨説明は事務局で行い、街歩きの説明をお願いしたいと考えている。他にも注意事項として、良いところを探すことに徹底した方が良いのであれば、事務局から言った方がよいか。それとも専門家から言った方がよいか相談したい。
- 地元の方が多いのであれば、今回の街歩きだけではなく、普段の暮らしの中で見つけているブランドがあるだろう。
- また、時間の関係で難しいと思うが、地元の方からのヒアリングから、実はここのお店にはこんな特徴があるといった話も出てくるだろう。参加者同士で話を聞きながら街を歩くと楽しくなる。決めつけず、これまでとまったく違った発想で良いところを見つけるのは、ブランディングの面白いところである。
- ▼実際に現地を見に行ったが、地図にプロットしている箇所を全て回ろうとすると所定の時間では回りきれない。反対に、事務局が決めたルートを決めて歩くのでは参加者も不満が出てくるかもしれない。どこを巡るかは各グループの意向にお任せし、グループごとに違いが出てきても良いだろう。
- 参加者の年齢構成はどのようになっているのか。
- ▼基本的には60代以上の方が多い。しかし、若い世代もいないことはない。
- 高校生や大学生などには声掛けを行ったのか。
- ▼特別にチラシを配ったりするなどの対応は行っていないが、全体に向けて掲示板等で周知を行った。
- ▼個人的に市内の先生に話をしたが、やはり3月末だと卒業などもあり、忙しいとのことであった。

○ルートを外れて別の場所へ行きたいと言うグループがいた時に、各グループに同伴している職員が上手く時間調整をしなければいけない。街歩きに時間を取られてしまうと、その後の作業に差し支えるので特に気をつけなければいけない。

▼職員が上手く誘導するように努めるが、グループの人数が増えると收拾がつかなくなるので、1グループ6人程度が妥当だろう。

○グループに入った街づくりサポーターがスポットを上手く誘導できると良い。

○あまり誘導を表に出したくないという事務局の意向があるようだが、地図にはすでにポイントをプロットしている。参加者がそれを目標に街歩きをして行けば、それが中央林間ブランドの候補だというイメージに十分なりえる。

○プロットしているポイントと違う発見をしていただくのは、そのルートの中だけの方が良いだろう。想定しているエリアから全く外れてしまえば收拾がつかなくなり、時間内に間に合わなくなってしまう。

▼街づくりサポーターの集いでは、一日で全てを済ましてしまうのは無理があるとのことご意見をいただいた。街歩きを行う日を別に設けて、しっかりと地域を見ていただいた上で、意見交換等を行った方が良いと言われた。

▼確かにそのような意見も一理あると思ったが、今回は初めての開催なので、まずは今回のように一日に凝縮して開催し、その様子を見て次回以降に反映させていきたい。

○西側地域を見ていると、比較的一体的な雰囲気があり、東側地域とはまた違うものを感じていただけるかもしれない。

○申し込みが必要な「巡る」以外に、申し込みの必要ない「語る」や「考える」に当日参加される方もいるということか。

▼そのとおりである。

▼当日は街歩きに同伴する職員と、そのまま会場に残って遅れて来た方や当日参加の受付等の作業を行う職員を残しておく。

○出発前に慌しくしたくないが、ブランドの意味などをしっかりと参加者へ伝えられると良い。事務局の意図するブランドが先ほどの話にあった「いいね」と思うものであれば、それをきちんと伝えた方が良いでしょう。

▼参加者の中でも「ブランド」の捉え方が異なると思うので、意思統一として説明は必要になるだろう。今回の趣旨は街の良いところを見つけることなので、その点を強調したい。

▼ほかに「語る」、「考える」の時間が合わせて3時間あり、この時間の長さも気にしている。街歩きを1時間30分行った後なので、参加者のモチベーションが持つのが心配である。

○確かに話を聞くだけでは長いとは思いますが、ところどころにアウトプットするタイミングがあるので、その点は良いのかもしれない。

○街歩きの負担を減らすのであれば、職員がある程度街歩きを誘導する形式の方が良いかもしれない。例えば、西側と東側で2つに分けているが、中央林間地区を3つのエリアに分けて、その中で街歩きをしてもらうなどの工夫があっても良い。

○地図にポイントのプロットが必要なグループと必要のないグループがあっても良いのではないかと。

▼プロットは案内する職員用にして、参加者には何も記載していない地図をお渡しするのも良いかも

しれない。

- 西側と東側に分けず、プロットしている箇所の中からグループで決めていただいて街歩きを行った方が良い。誰も行かない箇所も出てくるかもしれないが、コースもあまり外れることはないだろう。
- 時間だけ厳守していただいて、各グループが好きな箇所を回れるようにすれば面白いかもしれない。
- ▼確かに、限られた時間の中で職員がコースを誘導していると、作業的になってしまって良くないかもしれない。重点的に見るポイントグループで決めていただければ、街歩きも充実するだろう。
- 始めに見に行く箇所を参加者で相談する中で、グループにどのような人がいるのかが分かってくる。そのようにお互いのことが分かってから街歩きを行った方が効率的だろう。
- それに、6人程度のグループであれば、ルートを決めるのにさほど時間はかからないだろう。1箇所をしっかりと見ようとしたら、その箇所だけでかなり時間が取られてしまう。
- ▼中央林間の特徴的な街区の成り立ちなどの経緯を説明した資料があるので、その資料を事務局でまとめているところである。必要であれば途中の段階で解説を入れる等対応する。
- ▼もしくは、街歩きを終えて会場へ到着するグループは時間差があるので、その間のつなぎとして活用するなどしてもよい。
- 確かに、斜めの道や五差路、六差路といった道は特徴的である。
- その他のポイントについても解説をできるのか。
- ▼各ポイントの解説を入れた資料は当日も参加者へお配りするので、それを見ていただく。
- ▼街歩き中はボードもお配りするので、それに地図を挟んでいただくことを考えているが、付せんはあった方がよいか。
- 落としたりすることもあるので、特に必要ないだろう。地図に直接書き込めばよい。
- ▼地図は西側と東側で色を分けているが、同じ色にしてしまった方が良いだろう。
- ▼地図にプロットしていないポイントでも、中央林間地区に詳しい方が主導となって案内していただいても良いかもしれない。
- 東西に分けないことには賛成である。参加者が自主的に良いところを探しに行くほうが面白いだろう。
- 受付のときにどこを回りたいか希望が取れると良いと思ったが、これは難しいかもしれない。
- ▼当初は希望を取ること検討をしていたが、受付の広さや時間的に難しい。また、エリアも偏ることも想定されるので、今回のイベントでは受付に来た順番でグループ分けを行う。
- ▼参加者は来た順番にグループ分けを行うが、街づくり専門家や街づくりサポーターは予め各グループに振り分ける予定である。
- ▼現在、委員の中で参加していただける方はいらっしゃるか。

各委員へ参加の可否をうかがい、饗庭会長、吉田職務代理、仲村委員の3名へ街づくり専門家として参加を依頼した。

- 今回のイベントの結果として完成したものの取扱いはどうするのか。
- ▼市のホームページで公開するとともに、周知する機会があれば積極的にPRしていきたい。
- 大和まちづくりの会は参加するのか。今後の会の活動に役立ててもらえると良い。
- ▼参加を申し込んでいる方もいるが、会としての参加はいただいている。

○地元の方だけでなく、地区外の方が各グループに上手く入っていると良い。他の地区から自分たちの街がどのように見られているのかという視点は大事である。

▼予めグループ編成することも検討したが、当日に休まれるとグループの人数が偏り、再度グループ編成をし直すという作業が出てくる恐れがある。事前に番号札で地区内用、地区外用と振り分けておくようにする。

▼最後の「考える」でブランド案を3つ出していただき、投票をすることとしているが、出していただくブランド案の数や投票数についてうかがいたい。

○出されたブランド案が重なった場合は、それをまとめて一つとするのか。

▼同じものであったとしても、選んだ理由などが違うこともあるので、基本的に分けて考えるようにする。

○数を限定する必要はないだろう。3つ程度としておけば良いのではないか。

▼了解した。それでは一人あたりの投票数はどうか。

○一人3票くらいがちょうど良いだろう。また、雨の際などはどうするのか。

▼原則雨天決行だが、ひどい場合は街歩きを中止にして、ワークショップだけとする。連絡先は全てうかがっているので、当日に判断をして連絡する予定である。

○それでは、概ね意見も出されたと思うので、事務局側で意見をうかがうことがなければ、この報告事項を終了する。

3. 閉会

以上